

営農情報(令和8年1月)

作成・監修 勝浦町農業振興推進班

■温州みかん

令和7年産の温州みかんは、夏から秋にかけて気温が高く降雨も適度にあり、果実肥大は進み収穫量は前年よりやや増える見込みです。果実品質は、園地によりバラツキがありますが糖度、酸度とも平年並み～やや上回っております。

◇貯蔵管理

温州みかんの最適な貯蔵温度は3～5℃。湿度は85%程度となります。庫内の果実の状態を観察し、外気の状態を加味しながら温湿度計を参考に管理しましょう。換気は、外気と庫内の温度差が少ない朝夕に行いましょう。

また、定期的に果実の点検を行い、腐敗果を取り除きましょう。

◇樹体管理

樹勢回復と耐寒性向上のため、暖かい日を選んで窒素(尿素300倍液)の葉面散布を7～10日おきに、3回程度行う。

◇土壌改良の準備

堆肥や苦土石灰等の資材を準備しておく。

土壌のpHや養分の過不足を改善するため、2～3年ごとに土壌分析を行う。

(土壌分析の依頼方法は、別刷りの広報折り込みを参照のこと。)

【1月の病虫害防除】

かき

時期	対象病虫害	薬剤名	希釈倍数	収穫前日数	使用回数
休眠期 (発芽前)	カイガラムシ類	ハーベストオイル	50倍	—	—

うめ

休眠期 (発芽前)	越冬害虫	石灰硫黄合剤	10倍	—	—
	縮葉病		8倍	—	—

キウイフルーツ

1月	カイガラムシ類	機械油(乳)95	14倍	—	—
----	---------	----------	-----	---	---

■厳寒期の野菜の管理について

寒さが強まり、気温が下るにつれて、作物の生育は緩やかになるとともに、季節風により倒伏や低温による生育障害、霜害が起りやすくなるので、被覆資材の活用や適切な対策をとることが大切です。

◇被覆資材を用いる方法

1. プラスチックフィルム

農ビ、農ポリ、酢ビ等がある。

支柱を立てて、トンネル状に覆う。密閉すると日中は真冬でも高い温度になるので、発芽・生育促進や、とう立ち防止(だいこん、にんじん等)に役立つが、注意しないと高温障害が出ることもあるので、トンネル内を25度以上にしないように換気する必要がある。

2. 不織布(ふしょくふ)

合成繊維を織らないで布のようにしたもの。白色で軽く、通気性、透明性があり、「パオパオ」などの商品名で販売されている。

プラスチックフィルムほど保温性は高くないが、通気性があるため昼間高温にならず、換気の手間が省ける。また支柱を使わずべた掛けすることも出来る。

◇作物別の対策

- ・ほうれんそう、こまつな・・・霜や風が当たると葉が傷むので、不織布のべたがけで防寒する。
- ・はくさい、カリフラワー・・・外葉を包むようにひもで縛っておく。
- ・だいこん、にんじん・・・首の部分が隠れるように土寄せを行う。
- ・ねぎ・・・株元に土寄せするか、もみ殻をかける。
- ・エンドウ・・・笹竹や支柱を立てて稲わらをぶら下げる。

【お知らせ】

■令和7年産温州みかん糖酸度調査の概要

品種	(11/12~13)		(12/3~4)	
	糖度	酸度	糖度	酸度
沼江A 古田・十万	11.7	0.97	12.6	0.90
中角B 青島	9.6	0.90	11.2	0.72
中角C 古田	12.4	0.95	13.3	1.02
星谷D 古田	9.5	0.95	10.8	0.74
星谷E 古田	9.4	0.66	9.8	0.73
星谷F 古田	11.5	1.04	12.0	0.64
星谷G 古田	11.8	0.73	11.4	0.82
星谷H 青島	8.9	0.95	9.6	0.91
生名I 青島4号	9.9	1.03	10.9	0.67
与川内J 十万	-	-	10.9	0.82
坂本K 十万・古田	-	-	11.6	0.84
全戸平均	10.5	0.91	11.3	0.80
(R6平均)	(10.4)	(0.71)	(11.1)	(0.60)

- ・酸度の目安については、明確な基準は無いものの、一般的に収穫時は1.1~1.3 出荷時には0.6~0.8とされている。
- ・今年産は、前年産に比べ糖度も酸度も、やや高く推移している。



＜お問い合わせ先＞

勝浦町農業振興推進班

勝浦町農業振興課42-1505 JA農業振興戦略実践課088-538-7180 徳島農業支援センター088-626-8768